

E012 多賀火山西麓のテフラ(静岡県のGEO DATA(3) : 地学散歩(82))

著者	増島 淳
雑誌名	静岡地学
巻	102
ページ	iii-iii
発行年	2010-11-23
出版者	静岡県地学会
URL	http://doi.org/10.14945/00024735

E012 多賀火山西麓のテフラ



国土地理院 1 : 25,000 葦山

火山灰層の露頭は短時間で草や樹木に覆われ、観察に適した場所は少ない。本露頭は県道19号線沿いにあり目立つ。車は東側の旧大仁東小学校（2010年廃校）付近に置く。

多賀火山西麓に位置するが、大部分は箱根火山起源。愛鷹火山のテフラも堆積している。富士火山活動以前のテフラが主体である。

露頭の最下部には、鮮やかなオレンジ色の箱根Da-1軽石（Daは達磨火山の略号、約12.6万年前）が厚く堆積し、その上位には大仁黄色第2軽石、大仁茶色軽石（愛鷹山起源、角閃石に富む）、箱根Da-4軽石（Da-1に似る）、箱根Da-5軽石（斜長石が目立つ）、箱根TPH新規軽石流（県東部地域に広く分布する、約6万年前）等が観察できる。

（増島 淳）